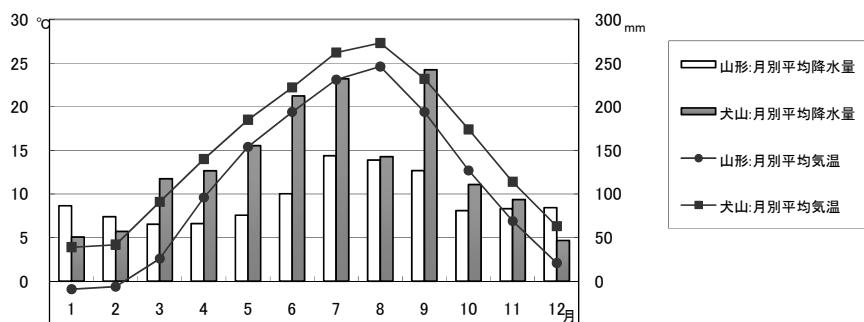
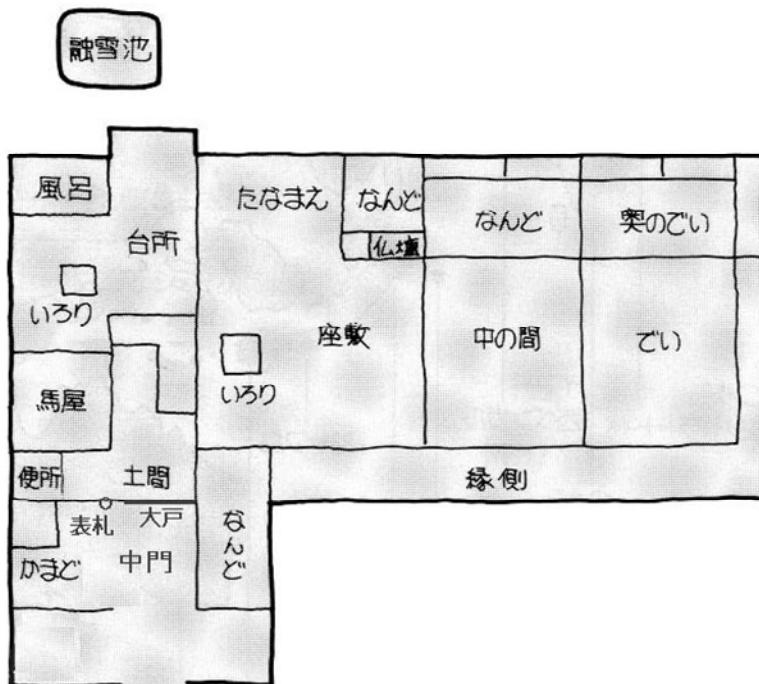


がっさんさんろく  
山形県 月山山麓の家

豪雪地帯の出羽山地、月山の麓、月山沢に、1767年に建てられた中門づくりの養蚕農家を移築しました。月山沢は1976年にダム建設のため廃村となり、水没しました。



## きこう 気候と住まい：雪とともに暮らす冬

おもてめん  
表面のグラフをみると、12月～2月にかけて、山形月山山麓の方がここ大山よりも月別平均降水量が多くなっていますが、その多くは雪です。冬のあいだ、3～4mもの雪が月山山麓では積もります。

### ちゅうもん 【中門づくり】

こくせつ  
曲がり屋の一種で、日本海側の豪雪地帯に特徴的な建築様式です。土間の手前にある大戸が家の入口で、中門は雪を払ったり、農具などの物置きとして使われ、屋内の暖気を逃がさない工夫です。冬の間は、中門の外に“雪口一カ”と呼ぶ突出部を設けます。

### ゆきがご 【雪囲い】

深雪地帯では、冬になるとカヤやムシロで家を囲みます。これを雪囲いといいます。これは寒さ対策であるとともに、雪が家にくっついて押しつぶさないようにという工夫です。

### 【明かりとりの障子窓】

雪囲いは障子の上の鴨居あたりまでおおうため、家の内部は薄暗くなってしまいます。そのため、軒をできるだけ高くあげ、その壁に窓を設けて、採光口とします。

### 【板壁】

つちかべ  
土壁は雪に弱く、崩れてしまうので、板壁とします。

### 【重さ対策】

雪の重みに耐えるように、太くてがっしりした木材を柱や梁に使います。

### 【雪おろし】

“雪ぼり”といい、ひと冬に6、7回は屋根に登って、雪を融雪池に落とし、水を流して溶かします。

### みちふ 【道踏み】

冬、子どもたちは朝起きると、カンジキをつけて、まず道踏みをします。毎日のように、一日に何回もします。

